

建築、建設の未来を創るBIM力を証明しよう！

BIM

利用技術者試験

2024年度

建築・建設業のDX化の鍵となる「BIM」。 「BIM力」を証明する新資格がついに誕生！

「BIM利用技術者試験」は、BIMを利用する建築・建設エンジニアや学生が身につけておくべき知識と技能が証明できる、BIM試験制度です。日本政府は今、高付加価値な建築・建設業界の実現を目指し、産業・地域の競争力強化を図るための施策を進めています。そしてこの施策の成功には、BIMの活用が欠かせません。本試験の合格者＝BIM利用技術者は、こうした新時代の建築・建設業界の担い手として、その活躍が求められています。

BIM利用技術者試験 2級

試験日

2024年4月8日(月)～2025年3月31日(月)

申込期間：2024年4月5日(金)～2025年3月15日(土)

上記期間中、全国の専用会場でいつでも受験できます。

受験料／7,700円(税込)

BIM利用技術者試験 1級・準1級

試験日

前期 2024年7月28日(日)
申込期間：2024年5月16日(木)～6月13日(木)

後期 2024年12月15日(日)
申込期間：2024年10月10日(木)～11月7日(木)

受験料／1級：19,800円(税込) 準1級：13,200円(税込)

※準1級保持者および1級保持者は、1級受験料・再受験料が13,200円(税込)となります。

※認定会場受験は1級16,500円(税込)、準1級11,000円(税込)です。

ACSP

主催：一般社団法人 コンピュータ教育振興協会

協力団体：一般社団法人BIM教育普及機構

試験に関するお問い合わせ先

<https://www.acsp.jp/bim/>



資格名	1級	準1級	2級
受験対象者	BIMシステムを利用した建築系・建設系のモデリング・設計・製図などの業務に従事して半年以上の実務経験、または1年以上の就学経験を有する方を想定して試験を行います。BIMが操作できるだけでなく、モデラーの統括やBIM設計の補助業務を担う方が対象です。	BIMシステムを利用した建築系・建設系のモデリング・設計・製図などの業務に従事することを旨とする方、もしくは従事して間もない方を想定して試験を行います。BIMを学び、モデリングの基礎的な部分を習得し、設計の補助業務を担う方やモデラーが対象です。	BIMシステムを利用した建築系・建設系のモデリング・設計・製図などの業務に従事することを旨とする方、およびBIMシステムの周辺業務に従事している方を想定して試験を行います。準1級、1級へのステップアップとしてだけでなく、関連製品の管理、営業等を担当されている方も対象です。(2級の合格は、準1級・1級受験の必須要件です)
受験資格	2級または準1級有資格者に限ります。	2級有資格者に限ります。	特にありません。
試験方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ BIMソフトを使用したモデリング ■ 提供されたモデルの詳細度を変更し、詳細図面の切り出しや面積等の数値を割り出す(モデルデータおよび図面データをマイページよりアップロード)。 <small>※上記試験方法は変更される場合がございます。 ※個人受験者は、受験者自身のノートPCとソフトを会場にお持ち込みいただきます。 ※認定会場での団体受験者は、会場のPCとソフトを利用いただけます。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ BIMソフトを使用したモデリング ■ 提供された2次元図面やデータからモデリングを行い、図面の切り出しや面積等の数値を割り出す(モデルデータおよび図面データをマイページよりアップロード)。 <small>※上記試験方法は変更される場合がございます。 ※個人受験者は、受験者自身のノートPCとソフトを会場にお持ち込みいただきます。 ※認定会場での団体受験者は、会場のPCとソフトを利用いただけます。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 筆記試験(60問) (CBTシステムによる多肢選択方式) <small>※一般受験者は全国にある専用のCBT試験会場にて実施 ※団体受験者は自校/自社のPC環境にて実施 ※BIMソフトは使用しません。</small>
試験時間	240分		60分
試験内容・分野	<ul style="list-style-type: none"> ■ BIMリテラシー能力 ソフト別テンプレートの読み込みを正しく行う。 ■ 2次元図面(詳細図)からのモデル編集能力 2次元図面(詳細図)をもとにBIMモデルを作成・詳細化し、図面の出図や数量の算出を行う問題。モデリングの応用的な能力を総合的に問う。 ※上記試験内容は変更される場合がございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ BIMリテラシー能力 ソフト別テンプレートの読み込みを正しく行う。 ■ 2次元図面(一般図)/データからのモデリング能力 2次元図面(一般図)/データからBIMモデルを作成し、図面の出図や数量の算出を行う問題。モデリングの基本的な能力を総合的に問う。 ※上記試験内容は変更される場合がございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ BIMの基礎 BIMとは、BIMの基礎 ■ BIMの実践 建物のライフサイクル全体で利用されるBIM、計画・設計段階におけるBIM、施工段階におけるBIM、BIMの国内外での活用状況 ■ BIMと人材 BIM技術者の役割、オーナー・ユーザーのBIM利用 ■ BIMの発展 BIMの標準化と情報流通、BIMへの期待
合格基準	各分野5割以上、および総合7割以上(1級および準1級は未定です)		
使用ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1級・準1級使用推奨ソフト 下記のソフト(バージョン)は、BIM利用技術者試験1級・準1級試験問題の事前検証を実施予定の推奨ソフトです。 Archicad、GLOBE Architect、Revit、Revit LT、Vectorworksシリーズ ※以上、アルファベット順 ※対応バージョンは決まり次第Webにて公開予定 		
受験料	個人受験 19,800円(税込) ※準1級/1級保持者は13,200円(税込) 認定会場受験 16,500円(税込) ※準1級/1級保持者は11,000円(税込)	個人受験 13,200円(税込) 認定会場受験 11,000円(税込)	7,700円(税込)
申込期間	前期 2024年5月16日(木)～6月13日(木) 後期 2024年10月10日(木)～11月7日(木)		2024年4月5日(金)～2025年3月15日(土) <small>※試験期間は2024年4月8日(月)～2025年3月31日(月)</small>
申込方法	【個人】 Webよりお申し込みください。 https://www.acsp.jp/bim/ 【認定会場】 各団体(認定会場)の試験実施責任者へご確認ください。		
団体申込について	企業、学校、団体が所属する職員や学生を10名以上とりまとめて受験する場合に、一括でお振り込みいただくことができる「受験チケット購入受験制度」がございます。詳細は公式Webページまたは試験センターまでお問い合わせください。		

認定会場募集中!

BIM利用技術者試験センターでは、随時認定会場を募集しています。認定会場にご登録いただくと...

◆1級/準1級: 受験料割引のほか、自校、自社に設置されたBIMシステムを利用して受験できます。 ◆2級: 自校、自社に設置されたPC環境を利用して、ご希望のスケジュールで受験できます。登録料は無料です。詳細は公式Webページまたは試験センターまでお問い合わせください。



試験対策関連商品のご紹介

受験者
必携!!

2級公式テキスト「建築・BIMの教科書 BASIC-I改訂版」



2級試験の対策用テキストとして、「一般社団法人BIM教育普及機構」が出版している「建築・BIMの教科書 BASIC-I改訂版(日刊建設通信新聞社刊)」を指定しています。2級の試験問題は、すべてこのテキストより出題いたします。

○ 判型/B5判・316ページ ○ 定価/3,960円(税込) ○ ISBN978-4-902611-91-5

〈試験対策〉公式Webページにてサンプル問題を公開中です。

BIM基礎知識診断テスト

協力団体である「一般社団法人BIM教育普及機構」では、BIM基礎知識習得の成果をご自身で診断・確認するツールとして、「BIM基礎知識診断テスト」を実施しています。Webオンラインテストで実施するもので、BIMの研修や書籍などで独自に勉強された方、すでにBIMを業務に利用されている方などがBIMに対してどこまで知識を身につけられているかの診断をするものです。BIM利用技術者試験2級の受験前の理解度チェック用としても活用いただけます。

診断名：BIM基礎知識診断テスト
診断期間：Webより申し込み後に配信される受診情報メール受信後1カ月間、期間中1回の受診
診断料：3,300円(税込)
出題範囲：「建築・BIMの教科書 BASIC-I改訂版」より出題
出題数・出題形式：30問 4肢択一方式
診断時間：60分
運営団体名：一般社団法人BIM教育普及機構
<https://bimeo.or.jp/index.html>

ACSPの主催試験

CAD利用技術者試験

CAD利用技術者試験は、1990年10月創設以来、総受験応募者数60万人・累計合格者数22万人の実績を持つ、国内有数のCADエンジニア育成のための検定試験です。受験者の技能や職種に応じてレベルアップできるよう構成されています。あなたもCAD利用技術者試験へ挑戦して、未来の設計図を描いてみませんか？

<https://www.acsp.jp/cad/>

Space Designer検定試験

住宅の「リフォーム」や「リノベーション」業界の急成長により、建築図面を理解でき、かつ3次元CADやBIM、グラフィック系ソフトを利用してリアルなパース画と説得力のある提案書を作成できる人材の確保が急務となっています。「Space Designer検定試験」は、CGパースを使った提案のプロフェッショナルを「Space Designer」として位置づけ、評価・認定する試験制度です。

<https://www.acsp.jp/sd/>

3Dプリンター活用技術検定試験

3Dプリンターの造形方法や材料、後工程、CADデータの取扱いなどの知識を評価・認定する検定試験です。試験は「3DPのメリット」「3DPの仕組みとプロセス」「3DPの活用」の3つの章に分かれており、3Dプリンターを活用するために必要な基礎技術知識を基礎から体系的に身につけることができます。

<https://www.acsp.jp/3dp/>



<https://www.acsp.jp/>

一般社団法人コンピュータ教育振興協会

ACSPIは、1990年の創設以来、受験応募者累計60万人を達成する「CAD利用技術者試験」を主催・運営する非営利法人です。長年の主催試験の運用を通して培ったノウハウをベースに、新試験の創設ならびに試験主催者に対する支援事業を行い、広く技術系人材能力を開発・育成しています。

試験に関するお問い合わせ先：bim_cs@acsp.jp